

### (3) 店どうしのきょうか

矢祭町の商店では、町の人々に、できるだけ、町内の店から品物を買ってもらうために、次のようなきょうかやくふうをしています。

- お店やさん、（けんちくの仕事をする人、たて具屋さん、たたみ屋さん、工場、旅館の人々もふくむ）どうしが集まって、商工会というそしきを作って、きょうかしています。
- お店どうしがきょうかしあい、シールけんを出し、サービスしています。
- チラシをくばったり、大売出しをします。
- 町の人々のねがいを聞いて、サービスに心がけています。
- お店をつくりかえたり、ちゅう車場をつくったりしています。
- やすくて、よい品物を仕入れるために、店の人は、問屋、市場について、いろいろ勉強をしています。



〈大売出しの<sup>ちゅう</sup>抽せん〉



〈ちゅう車場のある店〉

- ※ 学習のまとめとして次のことを表にまとめてみましょう。
- 近くの店から買う物、商店がいから買う物。

- 近くの店と商店がいとのちがいを。  
(売っている品物、店の大きさ、つくり、店の人の数、その他)
- 店のくふうと、店どうしのきょうか。
- 品物の仕入れ先と、よその町や市とのむすびつき。